

日本共産党

森本ふみお

後援会ニュース

2009年
11月20日

No.80

日本共産党森本ふみお後援会事務所
井原市木之子町2721-23
TEL62-6061 FAX62-6081
〔部内資料〕

日本共産党が市長に 予算編成にあたって要望

10月29日 135項目

10月29日午後3時から日本共産党井原市委員会のメンバー6人（森本市議、石井、大平元市議ら）が瀧本市長を訪ね「平成22年度予算編成にあたっての要望書」を手渡しました。市からは、北村財政課長が同席しました。

この要望書提出は、新年度（平成22年度）の予算編成に入る今の時期に、市民の声を要望書としてまとめ、日本共産党が毎年行っているものです。今回は135項目（総務部21項目、市民生活部8項目、健康福祉部32項目、建設経済部26項目、水道部4項目、市民病院13項目、教育委員会31項目）の要望になっています。

主な要望項目について、先ず市長の考えを聞き、こちらからも要望書の中のこれというものについて、より突っ込んで具体的をお願いし、要望内容を深めました。

要望などを話す中で、瀧本市長は「予算編成の時期になったが、新政権になって新聞やテレビなどから情報を入れるような状況で、情報がほとんど入らない。早く正確な情報が欲しい。大変戸惑っている」等とはなし、最後に「これらの要望は、地域の声として大変ありがたいと思っている。予算編成の中で順次優先度をつけながらやって行きたい」と話されました。要望と懇談は約1時間40分に亘りました。



市長に要望書を渡す森本市議（左端）

井原市政に対するご意見・ご要望をお寄せください

井原市議会12月定例会の開会予定日は今月の30日(月)です。皆様の井原市政に対するご意見・ご要望をお近くの党員か下記の電話・FAXにお気軽にお寄せください。皆様のご意見・ご要望が1つでも多く実現するよう、引き続き奮闘したいと考えています。

日本共産党後援会事務所
森本ふみお宅

TEL 62-6200
TEL 62-6061

FAX 62-6209
FAX 62-6081

周りの人に「日本共産党森本ふみお後援会」への入会をお勧めください。

Q & A 日本共産党 知りたい・聞きたい日本共産党
のHPより**後期高齢者医療を元に戻すと混乱する？**

〈問い〉後期高齢者医療制度を老人保健制度に戻せば混乱するという意見に対し、日本共産党はどう考えますか。(静岡・一読者)

〈答え〉後期高齢者医療制度は、高齢者を別枠の医療保険に囲い込み、高い負担と安上がりの差別医療を押しつける制度です。昨年、当時の野党4党は、「後期高齢者医療制度を廃止し、老人保健制度に戻す」法案を提出し、参議院で可決させました。これに対し、「元に戻せば混乱する」と反対したのが、自民・公明でした。

しかし、「混乱」というなら、高齢者を強制的に健保や国保から追い出し、日本国中を大混乱におとしいれたのが、後期高齢者医療制度です。

昨年3月までの老人保健制度は高齢者が国保や健保に加入したまま、現役世代より窓口負担が軽減されるための財政調整の仕組みでした。



後期高齢者医療制度を廃止して老人保健制度に戻せば、保険料の際限ない値上げや別建ての診療報酬による差別医療はストップされます。保険料の「年金天引き」や「保険証取り上げ」の制裁もなくなります。高齢者が75歳になった途端に家族の医療保険から切り離される事態も起こらなくなり、65~74歳の障害者も、国保や健保に入ったまま低負担で医療が受けられます。

制度廃止後、国保加入となる人のなかには、保険料が下がる人と上がる人が出てきますが、負担増となる人には国が手当てすることが、4党の廃止法案にも明記されています。昨年3月まで問題なくおこなわれていた制度に戻すのですから、自民・公明がというような「混乱」など起こるはずがありません。

この間、鳩山政権からは、制度を老人保険制度に戻せば「混乱」するという理由で「新制度」ができるまで廃止を先送りする動きも出ていますが、後期高齢者医療制度は放置すれば保険料が上がり続けるなど、害悪はいっそう深刻になります。

日本共産党は、世界に類のない差別法をすみやかに撤廃して老人保健制度に戻し、それを第一歩に、(1)高齢者と子どもの医療費無料化、(2)国保料の引き下げなどの抜本的な改革をめざします。

ご意見・ご要望および情報をお気軽にお聞かせください。